

シルバー 安全だより

第38号

平成21年1月1日

(社)日向市シルバー人材センター
安全管理委員会



安全管理副委員長
黒木喜八郎

—— 新年にあたり、健康・無事故の再点検をしよう ——

あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはごゆっくりと、また新たな気持ちで新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。昨年は世の中がなにかとめまぐるしく、世界的な経済の減速も目に見えて新聞を賑わせていますが、それぞれに適切な対策を講じながら乗り越えて貰いたいものです。

そして、このような時こそ地域社会では、シルバー会員の持つ経験や力が発揮され、支えのひとつとして活かされることでしょう。

私たちシルバー就業の基本となるのは、いつも変わらず先ず安全第一からです。今年度は既に傷害事故8件、物損事故5件（全部石跳ねによる車等のガラス破損）と増加しています。

このうち傷害事故の6件は転倒・転落によるもので、これは自分自身の油断・あわて・無理な体勢等が原因となっています。この事は落ち着いて安定した姿勢や、慎重な作業を心掛ければ避けられるものです。ヒヤリ・ハット経験や事故予知訓練で自分自身を気遣う心の再点検をしてください。

また体の不調があれば無理せず休み、早めに医者への診断を受けましょう。

これからしばらくは寒さが続きます。就業にあたっては体調を整え、風邪をひかぬよう準備万全でお願いいたします。

それでは皆様と共に、今年も無病息災で良い年となりますようご祈念いたします。

平成20年度安全標語・川柳入選作品

- 最優秀賞 鶴田 君子
『一人の目より 二人の目 みんなで摘み取る 危険の芽』
- 優秀賞 波部スナ子
『安全は一人一人が責任者 今日も元気で安全作業』
峰村シゲミ
『朝の笑顔が家路まで つづく明日も安全就業』
- 入選 林 昭 『慣れた道 慣れた作業に 油断あり』
高橋彰一郎 『ミーティング 他人のことではありません
我が身の安全就業です』
柳田 悦子 『今日も一日安全就業
家族のえがおが待っている』



鶴田 君子

この標語は孫と一緒に考えた作品でした。最優秀賞という審査結果にとてもびっくり!そして感激!家族みんなで喜びを分かち合いました。本当にありがとうございます。

- 最優秀賞 山元 一恵
『飛べたのに この幅 高さ 去年まで』
- 優秀賞 峰村シゲミ
『ありがとう その一言で今日もまた 腰も伸びます シワも伸び』
片伯部千鶴子
『笑いじわ どんどん増える いい仲間』
- 入選 寺原 正仁 『歳開かれ とっさに出るよ 後期です』
関本 勉 『シルバーは 老いの字捨てて 会う仲間』
岩切 秋子 『シルバーで 余生習得若返る』



山元 一恵

最優秀賞という名誉ある賞をいただき十年ぶりの光栄に、感動と気恥ずかしさでいっぱいです。シルバーに入会して何にでも挑戦してみようという勇気が再びわいて参りました。感謝申し上げます。

標語の部

川柳の部

今年こそは!!

シルバーには「事故0を目指す」という安全就業の大目標があります。会員が一丸となって、事故防止に努め、安全スローガンも毎日唱和すようにしましょう。

今年の安全スローガン

1. 自己管理の徹底で事故予防しよう
2. チームワークで明るく楽しく安全作業
3. 仕事にかかれば真剣勝負!「だろう・これ位」の油断なく

警告 11月25日 8件目の傷害事故発生!《物損事故発生状況》

発生日時	場所	原因	発生日時	場所	原因
1 H20.4.9(水) 午前7時30分	就業途上 女 71 財光寺市道	自転車で就業先に向う途中、車と接触し、左太ももを打撲	5 H20.8.22(全) 午後3時10分	就業中 男 60 はまぐり 碓石の里	カウンターテーブルに足を引っ掛けて転倒し、右足骨折
2 H20.6.6(全) 午後3時	就業中 女 59 中町 (福原眼科)	花の手入れ中、足元がふらついて転倒し、右頭部裂傷	6 H20.9.24(水) 午前8時15分	就業中 男 71 中町 (一般家庭)	剪定中、脚立から転落し、左顔面打撲
3 H20.6.13(全) 午前6時50分	就業途上 女 78 美々津町 国道10号線	車運転中、舗道に乗り上げ道路標識支柱に衝突し、腹部を打ち死亡	7 H20.11.6(木) 午後2時	就業中 男 65 富士 シリシア化学	ネット掛け作業中、転倒し、助骨骨折
4 H20.7.22(火) 午前8時10分	就業中 男 71 東郷町 寺迫	脚立から降りて移動中に転倒し、剪定ハサミが左太もも裏側に刺傷	8 H20.11.25(火) 午前5時40分	就業途上 女 68 本山定善寺	自転車に乗る時に転倒し、右足すね裂傷

11月25日に8件目の傷害事故が発生しました。その中で特に気になる点は、8件中6件の原因がどれも転落・転倒によるものです。川柳 最優秀賞の『飛べたのにこの幅高さ 去年まで』とあるように、身体の機能低下をよく認識し、自覚しましょう。高齢者は豊富な知識・経験・判断力・統率力を備えているなどの良い面がありますが、自分の身体機能の状態を認識することが大切です。

もし事故が起こると...

本人 → 苦痛や精神的ショック・障害・死亡

家族 → 本人以上の心配と悲しみ

センター → 会員の士気の低下、センターのイメージや信用の低下

就業における事故を防止する為にも、「不安全な状態」や「不安全な行動」をなくし、安全を確保しましょう。

がんばれ!
おやおとん



4S運動の実行!!



中野拓郎 委員

就業先の安全環境を整えるためには、4S（整理・整頓・清掃・清潔）が基本です。4S運動は、誰にも理解しやすく、比較的簡単に実行できるものです。

4Sを実践することにより、安全が確保されるだけでなく、作業効率アップにもつながります。

また、12月のパトロールにおいては、巡回先の会員全員がヘルメット・安全パッチの着用はもちろんのこと、作業に適した身なりも素晴らしく、とても良い印象を受けました。

今年のスタートに当たり、日向市シルバー人材センターの仕事に4Sを取り入れて安全・衛生を確保し、事故防止に努めて参りましょう。

平成20年度 月別実施重点事項

1月	自己管理の徹底で事故予防 (心とからだにスキをつらない)	①無理な姿勢での作業はしない ②梯子・脚立から低いと思っても飛び降りない ③安全帯・安全帽着用、開き止めは確実に
2月	転落・転倒事故の防止 (30cmの高さでも転落はおこる)	①一呼吸 声を出して指差呼唱 ②階段の上り下りは急がずゆっくりと ③就業前のミーティングと準備運動を徹底しよう
3月	一呼吸で危険をつらない	①一呼吸で四囲の確認 ②無理な姿勢での作業はしない ③終業時の後始末は確実に